

3. 人質事件と安倍外交

- (1) IS やカーイダの特徴を踏まえた用意周到さはあったか
欧米を敵に回す必要性のある悪意のある集団に与えた口実
イスラエル国旗の前で行われた記者会見
- (2) 戦略を構築し、最善の体制を敷いたか
ヨルダンにおける軍の地位と不在だった防衛省・自衛隊関係者
アルジェリアの事件の際にアラビスト不在であった失態の繰り返し
- (3) あらゆる手段を環境に即して用いたか
後藤夫人へのメールは使われたのか
情に訴える手法はあり得なかったか

日付	出来事
2014年8月16日	湯川 氏拘束が判明
11月1日	政府として後藤氏拘束を認知
12月3日	犯行グループから後藤夫人に身代金要求メール
2015年1月17日	カイロでの総理講演: ISILと戦う周辺諸国に対し、2億ドル程度の支援を行う。
1月20日	ネット画像: 誇らしくも一字軍参加を志願し・・・1億ドルを寄付した、2億ドルを国民の命を救うために支払え。
1月21日	イスラエルでの総理記者会見: 日本の支援は人道支援
1月24日	後藤氏: 安倍、おまえがハルナを殺させた・・・サージダ解放を要求している
1月27日	後藤氏: 私とパイロットの交換だ・・・24時間しか無い。
1月28日	ムーマーニ情報相: パイロットを交換するならば、サージダを釈放する用意がある。
1月29日	ジュデ外相: (日本人も人質交換の一部か問われ、)もちろんである。
1月29日	モースル時間29日日没までにトルコ国境で人質交換
1月29日	情報相: パイロットの生存を確認すれば、人質交換がなされる
2月1日	斬首の映像がネットに掲示される

4. イスラーム国に対処するには

空爆は効果的か

インジェリック空港の例

911以降、テロ組織を壊滅させた前例無し

ザルカーウィ・グループの敗走に学ぶ

テロ組織は不安定を利用し、伸張

イラク・シリアを始めとする中東の安定化、国民融和が必要

油価の低迷は何をもたらすか